

# 歳入確保の方策と国立市の対応状況

## 歳入確保の方策

## 国立市の現状・取組み

## 更なる取組みとして考えられる 方策 (他自治体事例を含む)

( )内は平成23年度決算額

### < 最近の検討状況 >

### 1. 市税・国保税収入の確保

(142億円) (15億円)

<区分>

<実施済み・取組中> <見送り> <未検討・未実施>

<具体的な検討状況・参考事項>

- 新税の導入
- 法定外税
- 税率の決定(市税)
- 超過課税
- 制限税率まで引上げ
- 法定目的税
- 国民健康保険税率の改定
- 徴収率の向上策の実施

- 全 般
- 法人住民税
- その他の税目
- 都市計画税
- 入湯税

- 国立市税源検討委員会にて検討見送り(平成16年度)
- 市民税法人税割について実施済み(資本金1億円超12.3%・14.7%、全国でも過半の団体が実施中)。他の税目については未実施。
- 都市計画税率の検討(平成23年度) 条例本則(=制限税率)0.30% H24-27は0.27%
- 温泉開業に伴い入湯税について検討(平成23年度) 入湯料金1200円以下を課税免除とした。
- 運営協議会に改定を諮問 答申(平成24年度)
- 市税徴収率多摩26市中1位、国保税2位(平成23年度)

・都市計画税率の検討

### 2. 受益者負担の見直し

- 使用料 手数料 本人等負担金 使用料・手数料の減免

- 自転車駐車場使用料(9700万円)
- 学童保育育成料(1600万円)
- 認可保育所保育料(2.3億円)
- 屋外運動施設使用料(1900万円)
- 総合体育館グリーンパス
- 各種施設の使用料(市民プラザ500万円他)
- 下水道使用料(9.6億円)
- ごみ処理手数料(1.3億円)
- その他

- 条例改正(平成24年12月)
- 条例改正(平成24年6月)
- 「子ども・子育て新システム」の制度構築の中での検討課題
- テニスコート、野球場、サッカー場について、平成21年10月改定
- 資本費平準化債の借入れにより、各年度の負担を平準化することとした。

・トータルコスト算出による検証

・家庭ごみ有料化

・施設使用料改定・減免規程改定

### 3. 市税以外の市債権の適正な管理

- 各種市債権の回収・徴収率の向上策

・平成24年度にプロジェクトチームを設置。債権ごとの法的な整理と対応について検討・実施中

### 4. 財産の活用

- 公共資産の有効活用・公有地の売却・公有財産貸付
- 行政財産の目的外使用許可
- 広告収入 ネーミングライツ

- 清化園跡地活用
- その他の公有財産の貸付
- 公有地の活用・売却

(一部) (一部)

(一部)

- 定期借地方式で賃貸、併せて企業誘致による地域活性化を行った。 企業誘致
- 廃止した道路・水路、都市計画道路残地は随時売却中。未利用地のうち、東3丁目用地は売却・基金積み立て実施。
- 東2丁目用地、富士見台4丁目用地については検討課
- 自動販売機の価格競争導入
- 市報、ホームページバナー、ごみ出しパンフレット、窓口封筒、生活便利帳、駅跨線橋掲示板、コミバス、市役所番号表示・市内案内表示板
- 市議会で質問提案あり。

・その他の公有財産の貸付

・公有地の活用・売却

・その他有料広告

・ネーミングライツ

### 5. その他の歳入確保

- 企業誘致促進事業
- 寄付制度の活用
- 地域資源の活用・地域ブランドの創出 商店等の地域活性化策
- 地域活性化策 観光 賑いのあるまちづくり
- その他人口増加に繋がる取組み

- 企業誘致指定
- くにたち未来寄附(寄附金250万円、財政協力金2200万円)
- 国立市商工会等連携
- 商店会活性化等
- 国立駅周辺整備事業 (計画含む)
- 都市農業の振興 (計画含む)
- 城山地区里山プロジェクト
- 文化・芸術施策等
- ロケーションボックス
- 大学・企業等との地域連携 (一部)

- 新たに立地する企業や協力者に固定資産税・都市計画税相当額を助成する制度、企業と不動産のマッチング事業。
- くにたち未来寄附の新規メニューの検討。先進自治体を参考に仕組みづくりも課題。
- 国立市商工会運営支援、国立ブランド商品「くにたちスタイル」の発信等の活動。
- 都補助金を活用した商店街活性化補助事業
- 富士見台第一団地におけるKF諸事業
- 矢川メルカード商店会の活性化事業
- 高架下事業、駅前広場整備、複合施設等土地利用他
- 農の駅拠点施設計画、ファーマーズマーケットの開催、農商工学の連携による商品開発等の事業
- 城山地区を中心に、「ビッグピオトープ」をイメージした里山づくり。農の駅、子どもプレイパーク、農や自然体験の場の整備。
- 新たな芸術文化事業として、くにたち文化・スポーツ振興財団、芸術、文化人等と連携し芸術作品を屋外に展示するなどのまちの価値を高める施策。・花と緑のまちづくり事業。
- 国立市内のロケ地の窓口や情報発信
- 富士見台第一団地におけるKF諸事業(商店街・一橋大学等の協働による活性化事業)

・くにたち未来寄附の積極的なPR、特典の設定

・ロケーションボックスの発展的展開

・学校、団体との連携による賑いの創出事業

・観光PRとして、マスコットキャラクター、ご当地グルメ(特産品)、国立市観光まちづくり協会等の団体との連携

・人口増加策に繋がる取組み・文教都市イメージアップ等